

(以下バイノーラル)

ふうー……んっ、んんっ……はぁー♥

主様が、まだホトの中でピクピクしておる……くふ♥

膣がぴちつと張り付いて……んんう♥

子種たつぷりのところろ液と合わさつて、ナコの体を揺らしてくれておるよお……くふふ♥

合わさった繋ぎ目から、漏れる白濁ところろの子種汁(こだねじる)を、少しでも逃さないようにしてくれておる……んふふ♥

主様の、ぐつて……体を寄せてくれておる手も、強くて暖かくて……すごく幸せじゃよお♥

んんっ……今、腰を抜いたら、折角注いで頂いたものが、流れていってしまうんじゃろうなあ……くうおん……。

それは、惜しい……のお。

んっ……どうかしたのかの、主様？

腰の手に力など入れ……んんうっ!？

《ぐちゅ……ぺたんっ》

「あなたが体位を変え、寝転がった音」

《しゅる……くちゅ、くちゅ》

(濡れた尻尾を触る音)

主様？

どうかしたのかの、急に寝転がってしまったて……ひやうっ!？

んんっ、そんな尻尾を急に撫でないで欲しいのじゃがあ……んんあっ♥

やあ、ダメじゃよ……あるじさまあっ♥

今、ワシの尻尾は垂れた液でぐちゅぐちゅじゃしい……ふうっ、んんっ♥

いつて、すぐじゃからあ……ワシ、そんなすぐ刺激されると弱いん、じゃ……か、らあっ♥

んんうっ……んえ？

繋がっていたいならワシの好きにつて……良いの、かの？

昨晚に続き、主様にはこんなに体力を使つて、注いで貰ってしまったというのに……これ以上、シても……良いの、かの？

ふっ、くや……ううんっっ♥

だか、らぁ……尻尾をそんな、はうっ……優しく握りながら、付け根を撫でないで、欲しい……とおっ♥

はぁ、んんう……う、んんう……♥

悪戯、好きなぁ……あるじさま、じゃあ♥

……良いと、言うこと……なんじゃな？

ふっ……くふっ、んんっ♥

主様は、本当に……エッチで、いけない……人、いや……狐たらしなお方なのじゃあ♥

ナコを……こんなにおかしくさせて、乱れさせて……堪らなくさせる方は、主様が初めてなのじゃよ……♥

孤独の寂しさも、人恋しい切なさも……残されたと感じておった空しさも、今は……全て主様の存在を、熱を……その全てを感じるための味付けにしか思えぬようになってしまつておる……く

ふ●

んっ……あう、ああ……くうんっ●

ああ● 乱れさせて頂きますじゃあ、あるじさまあ●

ナコはあ今、主様が注いで下さった子種に、精液に……淫欲(いんよく)に乱れ合わさった白濁の妊娠汁に酔っていく、そういう生き物。

ただ……それだけのモノでありたいのじゃあ●

あ……むっ●

じゆる……ちゅう、ちゆるう……んんっ●

んっ、ちゅう……ちゅぶ、ちゅずっ……ちゅうう……ちゅぶうっ●

はあー……あふうっ●

尻尾をお、そんな風に弄らないで欲しいんじゃあ、あるじさまあ……あうんっ●

んじゆるうー……ちゅう、ちゆるっ……ちゅずずっ●

そんな風にされたらあ、その分だけ……ナコは、もつともつと……主様の液に満たされた狐になりたくなってしまうんじゃあ●

んんっ●

ちゅっ、ずず……ちゆるう、ずずっ……れろおー……ちゅうっ●

はあー……はあー……●

では、いかせて貰いますのじゃ、あるじさまあ●

ナコのお、腰使いを……百閉(ひやくへい)の快感を感じて下さいませなのじゃあ●

んんっ● 尾を触られながらでは、ちと、動き難いですが……の●

でも、こうして主様に触られながら、動くのも……ナコは、大好きだから、んんうっ●

そのままあ、触つて……欲しいのじゃあっ●

んっ、うんっ、んっ、んっ……！

《ずっ……くちゅ、くちゅ、くちゅ》

(騎乗位で腰を上下させ始めた音)

はっ、ああ……んっ、う……ああ、うあ……んんっ●

やわこくの中にいてくれておった、お主のマラが……あっ、う……く、ふうっ●

ずり、ずり……にちや、にちや、大きゅうなつて、くれてお、るう……あ、は●

ああ……うん、腰をずらし、尾を……握られる、たびに……くうんっ●

優しく、ついて……きて、くれる、のじゃあ……ああ、うん……うれしい●

このな……？

お主のお……主様のお、ワシを求めて、少しずっ……ホトの、膣の……中を、占領するように……膨らんで、満たしてくれておる瞬間が……。

ワシはあ、ナコはあ……愛しくて、何度味おうてもお……嬉しくて、心地よいの、じゃあ……ああっ●

いっぱいいっぱい、腰を、着けて、放して……着けて、はなしてえっ●

主様のモノが抜けないようにしながらあ、どんどん、どんどん……ナコの中をお、主様が……いっぱいいっぱいにくれてるって、すごく、よく分かるのが、本当に、本当に……大好きなん、じゃ、よおっ●

んあっ、あっ、あっ、んっ、んんううっ●

腰い、腰い、もつと揺らそう、かのお？

どうじゃ、こう……こうしてえ、尻尾の毛をお……主様のお、腰に触れさせながらあ、ぴちやぴ

ちや、ぐりぐりゆつてえ……淫らな汁を垂らして、ぐりつて腰を回すのは、どう、じゃあ？  
お主をお、主様をお……気持ちよく、させられてる、かのお？

くふ……う、んっ● くう、お……うんっ●

そう言つて、気持ち良さそうに口を、眉を動かしてくれるの、嬉しいのじゃ、よお●  
もつと、もつと感じて欲しいのじゃ、あるじさまあ●

ナコはあ、主様が望めばあ……どれだけでも、淫らに、いやらしく……いっぱいいっぱい、ご奉仕させて貰いたいんじゃからあつっつ●  
うくつ、んっ！

んうううっ、ああ、うう……やあ、今あ、尻尾触られるのは、ダメ、じゃ……よおっ●  
ワシはあ、こんなに我慢しながら、腰を動かしておるのじゃか、らあ……っ●

そんなこと、されたら……どんどん我慢が出来んようになってしまふの、じゃあ●  
ただでさええ、ワシはあ……もう嬉しすぎてえ、ずつとずつと、それだけでイきそうなのを、我慢しておるといふ、のにい……あつ、うっ……うう、くうう……んんううっ●

あはあ……あう、んう……うっ、んっ……んんううっ●

あるじさまのお、イジ……わるうっ●

ナコの好きにさせてくれると、言うたのにい……ああっ●

あるじさまからあ、こんな風にされたら……ワシは、我慢なぞ出来るはずない、じゃろお●

腰、だけでえ……もう、動かせんようになつて、しもうたじゃろうがあ……ううんっ●

主様に、顔を近づけてえ……手でも、体を支えんと……ふくうんっ●

も、う……余裕なぞ、無くなつてもうたではない……かあ●

はあー……はあー……●

狐の耳があ、主様の頬に触れるのが……心地よい、のじゃ……くふうっ●

はあー……はあー……● どう、じゃあ……くう、んっ●

あるじい、さまあ……腰のお、動きい……ぱちゅ、ぱちゅ、上下に動かし、ながらあ……のお？

こうしてえ、ぐりぐり……ぐりぐり、いっぱい、うっぱい主様にくつつけてえ、動かすの、良いか  
のお？ 心地よい……かのお？ ……はう、あああっ●

ずるい、のじゃあ……あるじさまあ●

ナコのお、耳を……そんな風に、口で触られたら……余計、むずむずと、堪らなくなつてしまふに、  
決まつておるじゃろうがあ……●

お返し、じゃあ……ずるい、主様、めえ●

んっ、ちゅう、じゆる、ちゅう……れるお、くちゅ、じゆる……くちゅ、れるお、じゆる、ちゅっ、

ちゅっ、ちゅぶうっ●

ワシのお、耳ばかりじゃ……不公平、じゃものお……く、ふうっ●

んっ、ちゆるう、じゆる……くちゅ、くちゅ、ちゅうう……じゆるるうっ●

ちゅぷ……ちゅぷ、ちゅぱあつ……くううんっ●

はあ、はあ……先に、舐めたのはワシ、じゃと……？

くふ……そんなの、知らないのじゃ……こんなに体を熱く、切なく、淫らにさせてくる、主様が、  
全部いけないのじゃ、よおっ●

あむうっ……くちゅ、じゆる、ちゅぶう……くちゅ、じゆるう、ちゅううっ……ちゅっ●

くふう……ううんっ●

ただでさえ、たまらなかつたというのにい……こうしてえ、耳もお、尾もお……体の中も、ぜんぶ  
主様に触れて貰つてゐるのを、感じてしもうたらあ……ワシなど、蕩けてしまふに、決まつておるじゃ

ろうがあ♥

どう、じゃあ……あるじさまあ……はあ、ああ……うんっ♥

ワシはあ……ナコはあ、もう、もう……そろそろ、気をやつてしまい、そう……なんじゃが♥  
あるじさまあも……いつて、くれそう……か、のお？

あつ……くふ、くや……うんっ♥

そう、かあ……くふう、ふふう……あつ、あつ、んんうっ♥

それなら、最後にもう少しだけ、腰を強めるの、じゃあ……んんっ♥

のお……共にいつて欲しいのじゃ、お願い、出来るかのお……あるじさまあ？

……くふう♥

幸せ過ぎて、困りそうなくらいじゃ、あるじさまあ♥

では、のお……最後は、共に……のお？ ゆく、ぞお……っ♥

うくうんっ！

んっ、んっ、んあ……くう、うや、うん……っ♥

どう、じゃあ、心地よい、かのお……あるじさまあ♥

さい、ご……じゃからあつ！

いっぱい、いっぱい……腰、ぐっ……ぐっつて、奥まで、お主のモノで埋め尽くして、のおっ！

ずつとずつと、熱を忘れないでいられない、ほどに……ナコの腹をお、たぶたぶのお……孕んだよ

うなあ、お主の子種だけのお、膣にして……おくっ、……れえっつ！！

うあ、んっ、んっ、んう、んうううっ、んんあ、くうお……んんんうっ！！

んう、はあー、はあー……あるじい、さまあ……ぬしよお……あああつ♥

愛しい、よお……名残惜しいよお……この熱が、堪らなく……離れがたい、のお……んんうっ！

はあ、ああ……ううんっ……くふうっ♥

主様のお……もう1度、おおきゆうなつてきてくれたのじゃあ……あ、はあ♥

そうじゃあ……そのまま、ワシは、もう……ずつとずつと、ぐちゅぐちゅにい、くちゅくちゅとお。

お主を欲して、乱れ続けてしまつておるのじゃからあ……のお？

お主のでえ、とどめをさしておくれえ……あるじい、さまあ♥

う、んうっ！？

ん……うあ、あう……くうお、うん……うあ、うゆ……あつ、あつ、あつ……。

くう……お、う……ううううううううんんうっつっつ！……！！

《どくっ……びゅ、るるう》

(射精音)

あああ……あああ……あああああ♥

またあ、またあ……注いで貰つておるう……♥

あつたかい、あつたかい……あるじさまの、子種じゃあ……くうあおんっ♥

はあああ……ふうう……はあああ……あつ、ああ……はああああ♥

本当に……本当に、困つてしまふ、のじゃ……。

こんなに、お主に触れ合いながら、心地よく、溶けてしまいそう……こんな交わり。

ワシはあ、ナコはあ……本当に、困つて、しまいそう……じゃあ♥

んっ、ちゅう……ちゅう、じゆる……ちゅう……くちゅっ♥

ふはっ……あはっ、くおお……ん♥  
お主に注がれながらする、口吸いは……格別、じゃなあ……くふ♥  
のお……？

雨も、まだ降り続けておる……夕餉にもまだ時間はあるし、の？  
暫く……このままでいても、良いかのお？

お主の子種がどろどろと、ワシの雌を犯し、満たすのを感じながら……(こうして、抱き合っていて  
……貰える、かのお？

《さら……》

(頬で獣耳を撫でる音)

んっ……これえ♥

ワシの耳で、遊ぶでない……このおっ♥

尾も耳も、好きに弄りおつてからに……くふふ♥

うむ……では、もう暫く……この雨音を感じながら、共にいておくれ。

……ありがとうなのじゃ。

愛しい……愛しい、ワシの、主様よ……♥

んっ……ちゅっつ、ちゅつ、ちゅふ……くふ♥

主様の熱に溶けながら、下と上で口を合わせる愛おしさは、格別……じゃよ♥

んふっ……ちゅっつ♥